

半導体関連企業へ15名



令和七年三月一日、高校生活の集大成となったこの日、電子科卒業生三十八名が三年間の思い出を胸に学び舎を巣立った。人生の節目にふさわしい日となり、各々が別れを惜しみつつ、四月からの新生活に心躍らせた。JASM(株)に就職する岡崎君(合志中・電子クラブ)ら5名をはじめ、なんと電子科からだけでも15名が高額初任給と噂の半導体関連企業へ就職する。「引く手あまた」や「引つ張りだこ」という言葉があるが、まさに電子科の生徒のためにあるような感じすら受ける。

他にも都会で人工衛星を造りたい泉谷君(合志中・パステム開発所)は三菱電機(株)鎌倉製作所に、またシステム開発所には大橋君(富合中・ソフトボール)は(株)日立製作所に就職する。さらに阪神フアンで宝塚フアンでもある松野君(京陵中・ボクシング)は阪急電鉄(株)レクサスを愛車にしたい伊木君(帯山中・ラグビー)はトヨタ自動車九州(株)にそれぞれ就職する。例年通りバラエティ豊かな就職先に、冀望も「企業選び放題」感が溢れた。キールワイドは「高卒でも高給取り」のように。

一方、進学は国立大学への希望がなかったことは残念であるが、熊本高等学校へ編入学する坂井君(中央中・マイコン)、日本文理大学で野球を続ける松永君(甲佐中・野球)の他、県技大に2名、崇城大に1名など、昨年に比べると進学希望が少ないクラスであった。さらに熊本県警に伊藤君(西合志南中・吹奏楽)、熊本県の電気職に児安君(下城南・水泳)、熊本市の一般事務職に唐津さん(帯山中・アニメ)、電気職に杉浦さん(出水中・吹奏楽)など4人が公務員になる。

九州各県では半導体教育を充実させ、本県の人材不足に肖ろうと躍起になっている。この好機を他県に奪われたいよう、電子科としてもさらに奮闘したい。

昨年は定位置 長縄跳びの回数に期待か

熊工の伝統行事長縄といえど、大会は外せない。電子科の成績は安定のブレイブ(5位以内)で大勝負していた時代もあったようだが、その面影はない。3年前には6位でBクラス優勝や大金星と大騒ぎしていたこともあったが、今は昔である。



今年度、電子科総合責任者には熊工の流川楓と噂の高松君(西原中・バスケットボール、写真左)が名乗りを上げ、「俺のファーストブレイクは誰にも止められない！」とかなり強気だ。副総務の神田君(清水中・マイコン、写真右)も「俺が各競技のアルゴリズムをプログラム化し、全員の内身にインストールしてやる！」と激アツだ。

総合成績は3年生の長縄跳びの回数がかぎを握る。一昨年から9位と安定しているだけに、サンゴフラッグが成長するのか、注目してほしい。

マイコン制御&半田付け体験 熊工祭にて開催決定



令和4年度熊工祭から恒例行事となった半田付け体験であるが、今年度も開催することが決定した。

この催しは、普段電子科生徒がビフォーアプレックファースト的な技能である半田付けを、小中学生にも体験してもらおうと実施している。

昨年度からはマイコン制御体験も加え、プログラミングの楽しさや制御のしくみを分かりやすく学べるコーナーも増設した。体験できるセンサー類は、ジョイスティック、超音波センサー、音センサー、及び温度センサーの4種類で、タイピングからマイコンへの書き込み、動作確認までの手順が誰でも簡単に楽しめる内容となっている。

カメラやセンサー、マイコンも半導体製品であり、今後益々その重要度は増すであろう。魔術師を目指す第一歩として、体験してみよう。

電子科のお得情報

他校・他科とは違う、熊工電子科の魅力をお届け

1 電腦を構成する半導体が身近に

私たちの生活をより便利に、より豊かにしているのがコンピュータ化・IoT化です。つまり半導体技術の進化が大きなかぎを握っています。その半導体の動作原理や仕組みを学び、即戦力として半導体関連企業に就職しよう!

2 最新産業用ロボット実習装置での学び

近年のロボット制御技術の進化は、作業の自動化や労働力不足を補う重要な役割を担っています。最新装置で学ぶロボット制御技術で未来を創造し、君自身が最新テクノロジーを開発する技術者を目指そう!

3 ジュニアマイスター顕彰認定者多数

部活動では主力メンバーとして活躍する一方、将来のために資格取得に励む生徒を補講等で全面的にバックアップ。取得可能な資格もさらに充実。進学や就職に有利なジュニアマイスター顕彰ゴールドが目標! 部活も金! 資格も金!

旬な情報はこちら



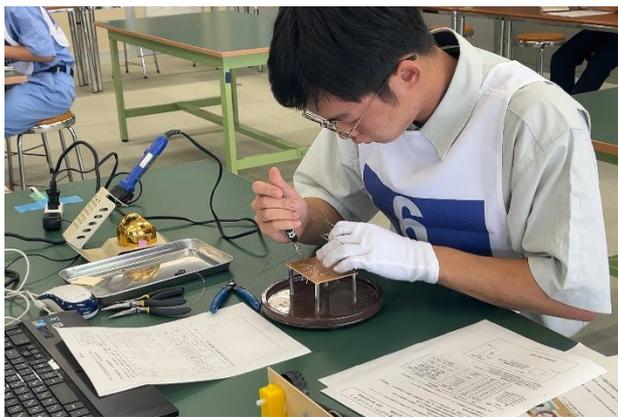
合格率が決め手! 資格は電子!

検定・資格名	難易度
計算技術検定3級	☆☆☆☆☆
情報技術検定3級	☆☆☆☆☆
リスニング英語検定	☆☆☆☆☆
品質管理検定4級	☆☆☆☆☆
ワープロ検定	☆☆☆☆☆
危険物取扱者乙4	☆☆☆☆☆
陸上特殊無線技士	☆☆☆☆☆
第二種電気工事士	☆☆☆☆☆
工事担任者	☆☆☆☆☆
技能検定3級	☆☆☆☆☆
半導体技術者検定	☆☆☆☆☆
ITパスポート	☆☆☆☆☆
電気主任技術者	☆☆☆☆☆☆

※難易度はあくまでも目安です。

金賞 & 九州大会出場!

ものづくりコンテスト熊本県大会 ハードもソフトも減点なしの満点!



高校総体が終わった二週間後、ものづくりコンテスト熊本県大会が玉名工業高校で開催された。約半年間の練習の成果が問われる日である。電子科からは電子回路組立部門へ毎年出場している。今年も厳しい科内予選を経て辻本君(大津北中・電波部・電子クラブ)が出場を決めた。

競技内容は、2時間半以内で与えられた条件を満たすハードウェア(入力回路の製作)とソフトウェア(制御プログラミング)の両方を作らなければならぬ過酷なレースだ。

前日の調整で一部不安定な動作が出現し、不安を抱えながら当日の競技に臨むことになった。大会当日、ハード製作に少し時間がかかったが、ソフトでの挽回を狙う予想通り展開となった。ところが得意のソフト制作でつまづき、金賞は諦めていた結果発表であったが、ハード製作での減点はなし。ソフト制作でも減点なし、つまり満点での金賞受賞となった。放課後や休日にも練習に取り組んできた苦労が報われた。

ハード製作においては、先輩の高松君(御船中・日産自動車)や藪田君(西原中・県技大)の伝統を受け継ぎ、さらにソフトウェアの分野において新たな歴史を刻んだ大会となった。

電子・電気・情報は何が違うのか

電気系3科の相違点に関する一考察

本校で「感電野郎」と言えば電気科の生徒が自虐ネタとして叫んでいるのを耳にする。身近な感電の例として静電気が有名であるが、およそ3000V以上で痛みを感じるようである。感電により記憶力が高まった、神のお告げが聞こえるようになった、という生徒もいるようだが、あくまでも噂のレベルであり、実際は大変危険だ。つまり電気科は強電分野が専門で、電気ショックを楽しむながら実験・実習を行う強靭さが必要だ。一方、情報はどのようなイメージとしてスーツ姿でパソコンを一日中力チャカチャカしている感じではないか。しかし思った以上に目・肩・腰



が疲れ、アリナミンEXが必要になる。またコンピュータにプログラムを送信しても、思った通りに動作しない時はイライラして壊したくもなる。赤子に一つひとつ丁寧に指示する様な根気強さと気配りが必要だ。話をだいたい盛っているが、電子はその間を取り持つ「仲人」のような存在である。近年、人材不足が叫ばれるなか、その救世主は自動化である。カメラを含めた各種センサからの信号をコンピュータで判断・処理し、適切にモーターなどが自動で必要な機器を制御するのが自動化である。

情報システム科がプログラミングを考え入力し、電子科がコンピュータの小さな電気信号で大きな電流を制御し、電気科が機器を動作させる。この三人文殊が我々の生活を豊かにしているのだ。

次年度から教育課程を変更

半導体教育をさらに充実する狙いか

昨年度から電子科でも新教育課程で実施しているが、次年度、令和8年度入学生から教育課程をさらに変更する。大きな変更点は現教育課程で3年時に学ぶ「電子回路」を1年時から履修し、半導体を学びたいと熱意がメラメラしている新入生の要望に答える。電気回路と並行して履修する状況に、電子回路が理解できるのか?という意見もあるが、「シリコンは熱いうちに打て」ということわざもあるように、タイミングが重要である。鉄より120℃以上も融点が低いシリコンでは無意味では?とツツコミを入れられそうだが、導体である鉄に半導体の役割は不可能だ。今後は、高純度のシリコンが半導体として、さらには世界の発展に鉄以上に貢献するであろう。

話を元に戻そう。1年生で専門科目が2単位増となるが、2年生はこれまで通り9単位(普通科目選択者は7単位)で1年生より少ない、いびつな状態となる。今後は2年生の専門科目を増加させ、資格・検定試験への取組み重視した編成を検討していく。また半導体技術者検定4級選択科目は従来通りである。どちらを選ばずとも、両方苦手は避けたいところだ。ただし、両方選ぶ方も注意が必要だ。

電子科教育課程	～2025年度入学生			2026年度入学生～		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
工業技術基礎	3			3		
課題研究		2	3		2	3
実習		3	3		3	3
製図*			2/0			2/0
工業情報数理	2			2		
電気回路	3	2	2	3	2	2
電子回路			3		2	2
電子計測制御*			2/0			2/0
通信技術*		2/0			2/0	
ハードウェア			2			2
半導体技術			1			1
*は選択科目	8	9/7	18/14	10	9/7	17/13

理系女、あつまれ!

多くの求人に対応できず...



近年、企業の人事担当者から頻りに尋ねられるのが、「就職希望の女子の生徒さんはいらっしやいますか?」である。以前は、「こちらから「女子の生徒でも大丈夫ですか?」と聞いていた時代もあった。製造・生産の現場に女子?との時代遅れの意見があるが、実は破格のお姫様待遇で、特に育児休暇などの福利厚生面での厚遇が目立っている。

映画やドラマの中では、スーツに身を包んだOLが、華やかに仕事をこなす姿が演じられる。しかし、現実には激務で薄給であることも少なくない。

電子科には現在7人の女子生徒が在籍する。しかし、多くの半導体企業から、人数以上のリクエストがあり、電子科とヨが得る多くの特典を享受しよう!